

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月20日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100511		
法人名	有限会社 ヤマギシ企画		
事業所名	グループホーム 入江		
所在地	北海道釧路市入江町8番29号 (電話) 0154-23-8133		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年2月20日	評価確定日	平成20年3月17日

【情報提供票より】(平成19年12月23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年10月24日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 11人, 非常勤 6人, 常勤換算 10.8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 2×4 造り
	2階建ての 1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	13,650~18,900 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(79,800 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	380 円
	夕食	430 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(12月23日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名		
要介護3	5 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 82.2 歳	67 歳	最高	95 歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さい内科クリニック、釧路中央脳神経科病院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は皆、研修やスキルアップに対する意欲が高く、毎年介護福祉士・介護支援専門員・認知症専門士などの合格者が出ています。職員の異動もほとんどありません。近隣には学校、病院、公園などがあり生活の至便性に優れたホームです。ホーム長はグループホーム協議会の事務局をしており、地域のケアの質の向上に寄与しています。町内会の方たちとも交流に努め、近くの小学校からも定期的にボランティアに来てくださっています。今回の自己評価をする中で「利用者さんと地域の方が顔なじみとなるような関係を築き、地域の中での高齢者支援の拠点となります」という新しい地域密着型としての理念を職員全員で作りました。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では緊急時の対応についてあげられていましたが、4人の職員が救急講習に参加しました。会議で他の全ての職員にも指導しました。警察・消防との連携については、これから取り組む予定でいます。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価に取り組む中で、地域密着型としての理念を職員全員で話し合っって作り上げ更に地域との係わりを深められることや一人ひとりのペースを尊重しできる限り希望に添って支援することなどを目指しています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の主な議題は 自己評価・外部評価について 地域・町内・小学校との交流の紹介について 医療連携についての報告とターミナルケアについて 行事予定について 地域密着型認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の役割について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	「入江便り」を毎月発行して、利用者の日常の暮らしぶりや表情、ホーム行事の様子などをお知らせしています。また、日頃より家族との関係を大事にして、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。小さなことでもご家族に報告をすることで、疑問や不安を少なくするよう努めています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会の行事には毎回必ず参加し、ホームの行事の時には来ていただいて交流しています。町内会役員や近所のお店、ボランティア、小・中学校などとも交流しています。近くの小学校での運動会、学芸会などは招待され、見学に出かけています。中学生も介護の実習に来ています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今回の評価を全員で取り組む中で「利用者さんと地域の方が顔なじみとなるような関係を築き、地域の中での高齢者支援の拠点となります」という新しい地域密着型としての理念を作り上げました。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は全員で理念の重要性を再認識しながら実践に努めています。仕事上で疑問や問題を抱えた時には理念に戻って考えるように取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の行事には必ず参加しています。また、ホームの夏祭りでは町内会の方との交流を毎年続けています。近くの小学校での運動会、学芸会には招待を受け見学に出かけるほか、小学生が定期的にボランティアに来てくれています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	理念以外の自己評価にはユニットごとに取り組みました。内部評価・外部評価の結果は入り口近くの見やすい場所に置かれ、誰でもが見られるようにしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は町内会（会長、副会長）家族会（会長、副会長）、民生委員、ホーム長、管理者（1・2階）、中部包括支援センター職員が参加し報告や意見交換がされています。</p>		<p>地域には様々な働きかけがなされ、ボランティアに来てくださるなどしていますが、今後更に地域の高齢者支援の拠点となることができるよう運営推進会議が定期的に行われることを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>グループホーム協議会の役員をしていて、定期的に市役所に顔を出して情報交換などを行っています。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「入江便り」を発行して行事や利用者の日常の暮らしなどについて報告がされています。金銭管理報告も同時になされる他、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告しています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会で話し合いをするほか、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んでいます。</p>		<p>ご家族には細かなことでも報告をすることなどで疑問や不安が無くなるよう努めていますが、外部の苦情相談窓口はホーム内のポスター以外にもご家族の手元に文書としてお渡しできることが望まれます。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はほとんどありません。ユニット間での異動がある場合などには職員が自分で挨拶をし、いつでも会えることを伝えていきます。また、利用者との馴染みの関係ができていく職員が多数いることで、影響を与えることが少なくなっています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	地元のグループホーム協議会、道のグループホーム協議会などで行われている研修などにたくさんの職員が参加しています。道のスタッフ研修はほとんどの職員が受講しました。新人の職員にはスタッフが一人付き、実地研修を行い、夜勤はある程度慣れてから入るようにしてもらっています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	釧路根室グループホーム協議会の中で、講演会や交換研修・訪問研修の他、親睦を深める機会も設けています。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、利用者・家族の見学などをしてもらい雰囲気に馴染めるよう工夫したり、本人の納得がいかなければ無理強いせず、まずホームに住む、あるいは泊まるということを理解してもらうようにしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	農業を営んでいた方に畑の作り方を教えていただいたり、お料理をしているときにイカの皮のむき方や上手なお刺身の切り方などを教えていただくなどしながら支え合う関係を築いています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>記録には本人の言った言葉をそのまま書くようにし、希望や意向などを把握できるよう努めています。センター方式を導入し、生活歴などからも考えられるようにしています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、担当者が基本的な書き込みをし、会議で介護支援専門員や他の職員の意見を聞き、本人、家族、関係者と話し合いながら作成しています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は期間に応じて評価を行い、計画的に見直しが行われています。また、利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>定期以外の通院介助や懐かしい場所にお連れするなど柔軟な支援ができるよう努めています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	ほとんどの方が入居前からのかかりつけ医にかかっています。定期的に往診もあり看護ステーションとの医療連携も行っています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	運営推進会議の中でも医療連携についての報告とターミナルケアについて議題として取り上げ話し合っています。ぎりぎりまでホームで過ごされた方のご家族や医師などとは繰り返し話し合い、職員とも情報を共有しました。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報は決められた場所に保管されています。利用者に対する言葉遣いなど管理者は常に気を配り、職員にも指導しています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩や買い物、外食や日々の日課となっている食事の準備や入浴など、できる限り本人の希望やペースに沿えるよう努めています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の好みや味付けなども遠慮せずに言ってもらえるようになっていきます。職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備や片づけなどを行っています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的に決めていますが希望があれば別の日にも対応しています。夜間入浴もしてみましたが、入りたい方がいませんでしたので現在は行っていません。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食材の買い物などにも一緒に行っていただいたりドライブや外食に出かけたり、農家をさせていただきながら畑をつくるなどの他、食事の準備、洗濯ものたたみなど役割や楽しみごと、気晴らしなどがそれぞれにできるよう支援しています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・外気浴などご希望に応じて出かけたり、食材の買い物に一緒に行っていただくなど外出ができるように支援されていますが、冬期間はどうしても外出が限られてしまっています。		冬季には転倒が心配になりますが、滑る心配の少ない場所を選んで出かけられることが望まれます。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は鍵をかけていません。玄関は、センサーの設置などで鍵をかけないケアに取り組んでいます。利用者が外出する時は、職員がさりげなくついていき安全面で配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者が配置され、避難訓練は年2回実施されています。		今後は、近隣の住民にもご協力が得られるように働きかけを行っていく予定です。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事中は、利用者さんが他の利用者さんに食べさせてくださるうとする様子も見られました。また、食事・水分とも記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には季節の飾り、行事などの写真や利用者と職員と一緒に縫って作ったタペストリーなどが飾られています。日当たりの良い共用空間にまぶしい光が入っている時にはカーテンを引くなどして居心地よく暮らせるように工夫されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの方がご自分の使い慣れた家具などを持ち込まれています。仏壇を持ってこられている方は毎朝ご飯やお水をお供えするなど本人が居心地よく過ごせる空間となっています。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。